

# 平成29年度 指定管理業務 評価票(案)

石川河川公園	【指定管理者】 石川河川公園指定管理グループ	【指定期間】 平成25年4月1日 ～ 平成30年3月31日	【所管課】 富田林土木事務所 都市みどり課
--------	---------------------------	-------------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
<b>I 提案の履行状況に関する項目</b>						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p><b>【実績】</b></p> <p>○一般的な植物管理・施設管理・安全管理・施設運営に加え、継続して施設の長寿命化を見据えた腐食や錆防止のための塗装や清掃作業を行った。</p> <p>○石川の豊かな自然環境と河川公園の特色を活かすことを基本方針とした「公園育て3原則」に則り管理運営を実施した。</p> <p>■川は川が作る</p> <p>○府民ボランティアとともに、外来種やクズなどの雑草を除去し、希少種であるカヤネズミの営巣に必要なオギの群落づくりを実施した。</p> <p>○羽曳野市緑の少年団にミゾコウジュの講義を行ったほか、ボランティアや大阪産業大学人間環境学部鶴田ゼミの体験学習の一環として、学生とカヤネズミの保護活動を行った。</p> <p>■人は人が作る</p> <p>○東大阪市のガールスカウトに対し、河川敷での魚取り体験を実施した。</p> <p>○「お父さんと一緒に魚取り」をはじめ、イベント内容の充実を図るとともに、河川敷を使いこなした体験型イベントを多数実施した。</p> <p>■石川はみんながつくる</p> <p>○隣接する羽曳野市の公園でのイベント時には、当公園において、水を使ったイベント「石川にぎわい祭り」を開催。そのほか無料の臨時駐車場を確保する等、羽曳野市と協力してイベントを実施した。</p> <p>○石川流域の関係団体が連携し、公園を核として地域の歴史・文化的遺産等の観光資源をつなぎ活性化へ寄与することを目的とする「地域とつながり・成長する」協議会について、今年度は6・7回目を開催した。管理事務所は協議会事務局として、地元市や大学、観光協会等が行うイベントの情報誌を季節に合わせて発行した。また、羽曳野市で開催されたフォトロゲイニングに協力した。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>○日常管理業務では、普段見落としがちなどころにまで視点を広げ、施設の延命化や良好な景観の再生に寄与することができた。</p> <p>○羽曳野市緑の少年団や大阪産業大学の学生に、環境学習の活動として活用していただいたことで、継続的な自然保護活動や、新たなボランティア確保のきる機会の創出につながった。</p> <p>○河川敷の自然環境は重要な資産であり、観察会やイベントに活用することで、自然と触れ合う楽しさや自然に対する理解、人と人の触れ合いの場を提供することができた。</p> <p>○隣接する羽曳野市の公園イベント時には、駒ヶ谷地区も会場として協力することで、雨天にもかかわらず、利用者でにぎわった。</p> <p>○「地域とつながり・成長する」協議会を通じ、流域全体としての活性化に寄与できた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○施設の設置目的に即した管理を継続して実施している。</p> <p>○カヤネズミの営巣に必要なオギの群落や減少の著しいミゾコウジュの保護にボランティアや地元大学と連携し取り組むとともに、イベントを通じた自然環境学習等の啓もう活動を行った。</p> <p>○地元市や大学、観光協会等多くの団体との協力体制を構築した。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>地元市をはじめとする様々な団体との連携・協力体制を構築するなど積極的に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p><b>【実績】</b></p> <p>■ 公平な使用許可・行為許可・利用指導</p> <p>○ 古市スポーツ広場地区「多目的広場」では、より多くの方に利用していただくため、運営要領に則り実施した。</p> <p>○ スタッフの対応に差異が生じないように独自に対応マニュアルを作成し、それに則り運営した。</p> <p>○ 利用が定着したベトナム人によるフットサル利用の申請時には、ベトナム語表記のマナーシートを用いて利用指導を行った。</p> <p>■ 分け隔てのない、公園情報の発信</p> <p>○ 利用者が譲り合って公平にバーベキューをご利用いただけるよう、ルールを盛り込んだ園内看板や配布チラシを用いて情報発信した。また、ホームページでもバーベキューエリアや利用方法を明確に掲載した。</p> <p>○ 特に無人の場所取りの件数が増え、重点的に注意を呼び掛け、指導を行った。</p> <p>○ パークゴルフ場の雨天中止等の情報をお知らせするメールサービスを行うほか、ホームページを読み上げソフトに対応させた。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>○ 外国人による公園利用に際し、外国語に対応して丁寧に指導することでルール等を理解していただき、公園利用者や周辺地域とトラブルなく快適に利用いただくことができた。</p> <p>○ バーベキュー利用では、園内放送や掲示物にて無人の場所取りについて注意を呼びかけ、マナー違反者には注意指導を行った結果、苦情が減少した。</p> <p>○ メールサービスや、読み上げソフトに対応させることで、聴覚障がい者や視覚障がい者への平等な情報発信を行うことができた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○ 外国人へ母国語での公園利用のルール説明を行うなどの平等利用に対する取り組みは高く評価できる。</p>	A	<p>インバウンド向けの対応など、平等利用に関する積極的・多面的な取り組みは評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者層への情報発信などにより、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。 来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p><b>【実績】</b>  <b>■来園者数</b>  ○来園者数は4月～11月で延べ13万1690名であった。  <b>■管理事務所</b>  ○幼児連れの家族の交流や荒天時でも安心して楽しめるようキッズルームを開放した。  ○ファミリー層が楽しめるよう、大人の塗り絵や植物等に関する知識本の提供を行った。  ○自転車の無料貸出を行い、4月～11月で122台の利用。65歳以上の方向けのヘルメットも準備した。  <b>■パークゴルフ場</b>  ○高齢者保健福祉月間行事として、敬老の日には1ラウンドを無料とするサービスを行った。  ○土日祝日のパークゴルフ場ご利用者駐車場料金無料サービスを実施した。4月～11月で409件の利用があった。  ○パークゴルフ月例大会を毎月第2火曜日に開催、11月末時点で延べ4回開催、98名の方に参加いただいた。  ○パークゴルフ場において、台風21号による被害のが甚大であったが、利用者から早期復旧を望む声が多く出されたことから、Bコースの機能回復に努め、暫定供用を開始。無料でプレーできるサービスを行っている。  <b>■古市スポーツ広場地区多目的広場</b>  ○利用者が午前9時からプレーできるよう、30分以上前から整地用のレーキなどを器材貸出に対応した。  <b>■魅力的なプログラム</b>  ○河川敷の樹木等を利活用した「木登り体験会」や「Xmasリース作り」を企画した。  ○隣接する羽曳野市の公園での「収穫祭」が行われる同日に幼児用プールを仮設し、夏場の利用活性を図り、親子連れの方に楽まれた。  ○魚取りイベントは、ニーズの高いイベントであることから、池干し後の観察会や投網体験など、メニューを追加し、計14回企画した。(うち2回中止)  ○ペットの飼い主に対してのマナーアップを啓発するため、「ペットと一緒に写真撮影」を行い、楽しみながら理解していただく取り組みを行った。  ○イベント数の合計は4月から11月までで38件、イベントの参加人数は延べ約5,204名だった。</p> <p><b>【自己評価】</b>  ○公園の独自イベントに加え、地域と連携し地域の核となる取り組みとして発展させたことで、公園の活性化を図ることができた。  ○川を活用したイベントは大変人気であることから、回数増加や内容の充実を図り、より多くの参加を確保し、ニーズに対応することができた。  ○ペットと一緒に写真撮影の参加者は、主に地元の方が多く、マナーアップ以外に、公園への愛着アップにつなげることができた。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○台風21号による被災後、パークゴルフ場の復旧に加え、無料での暫定供用等、利用者の利便性の向上のため柔軟な公園運用を行ったことは高く評価できる。</p> <p>○ペットの写真撮影を行うイベントでマナーアップの啓発を行うなど、イベント参加者以外の利用者にもメリットのある取り組みを行った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。  ペットのマナーアップ啓発イベントなど、利便性向上やサービス向上に対する細やかな取り組みは評価できる。  引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)	<p><b>【実績】</b> ○パークゴルフ場において、利用者より飲料販売を求める要望が上がっていたが、河川敷内あり自動販売機の設置が出来ないことから、手売りにより飲料の販売サービスを行い、4月～11月で663本(昨年度比1.27倍)の利用があった。</p> <p><b>【自己評価】</b> ○飲料販売は熱中症対策にもなり、利用者からも好評であった。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○施設に制限のあるパークゴルフ場での飲料販売は、来園者の利便性や安全面の確保に繋がる取り組みであると評価できる。</p>	A	<p>パークゴルフ場での飲料販売は評価できる。 引き続き工夫を凝らし、更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p><b>【実績】</b> ○施設トラブルを未然に防ぎ、施設補修の充実や作業効率を図るため、従業員2名による施設補修班を別編成し、ひと月に3回程度の作業実施を実施した。 ○トラブルが発生した際には、関係各所への連絡や復旧を迅速に行うとともに、スタッフ間で情報共有を行った。 ○遊具の破損を発見した際には、直ちに利用禁止を行うとともに、迅速に補修を行った。 ○その他、不審火や道路の陥没等が発生した際には、迅速に現地確認及び土木事務所や富田林市消防本部等関係各所への連絡を行った。 ○管理事務所用原水槽ポンプのフロート異常など、指定管理者での対応が難しい場合には、迅速に業者へ連絡し、トラブルを防止した。 ○移動式トイレは、ゲリラ豪雨等による急激な増水時に対し、すぐに避難移動することが難しいことから、気象情報に常に留意し、増水前に早めの避難移動を行った。また、大雨が予想される時期にはトイレの利用ニーズに配慮しながら、再設置のタイミングを計り、流失や破損が生じないように努めた。 ○貴重品や個人情報に関する遺失物については、従業員全員で対応方針を統一し厳重に取り扱った。 ○夜間の花火や騒音問題に対処するため、照明灯の点灯時間調整や注意看板を設置し、未然防止に努めた。 ○バーベキュー利用者が年々増えている傾向にあることから、スペースの譲り合いを呼びかけ、無人の場所取りの注意指導を徹底した。</p> <p><b>【自己評価】</b> ○施設補修や復旧、メンテナンスを迅速に行ったことで、事故の未然防止や施設の安全確認、延命化が図れた。 ○トラブルの生じることが想定されるものについては早めの対応をとることで、事故等を未然に防止できた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○バーベキューの場所取りについて、ルールを決めて利用者への注意を行うなどのトラブル防止に努めた。</p> <p>○出水の可能性があるときは、堤外地のトイレを必要に応じて移動するなど、適切に対応した。</p>	A	<p>バーベキュー利用者への注意喚起や出水前対応など、適切なトラブル対処・未然防止を図ったことは評価できる。 引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p><b>【実績】</b></p> <p>■ 除草</p> <p>○作業実施にあたってPL花火や地域のイベント・団体等による公園利用状況も踏まえて、作業エリアや時期を臨機に変更し利用者の快適性向上に努めた。</p> <p>○公園出入口やサイクルロードの死角になりやすい箇所は、当初計画以上に除草を行ったほか、公園エリア外であっても除草を行い、公園利用者の安全確保に努めた。</p> <p>○フットサルなどの利用申請に合わせて、利用エリアの除草工程の見直しや回数を増やすなどの調整を行って利用者の快適な利用に努めた。</p> <p>○台風による増水により、瓦礫等が除草区域に堆積したため、除草作業に支障が生じたが、優先順位を付けた迅速な復旧作業を行い、工程を見直すことで概ね計画通り実施できた。</p> <p>○あすか花回廊では、花壇内でハマスゲが大繁殖し花壇の植物を被圧するため、10cm程土を掘り返し、根塊ごと除去を行った。また一部区域に秋の七草を植栽し9月下旬から台風被害のあった10月中旬まで利用者を楽しませた。</p> <p>■ 樹木管理</p> <p>○カイガラムシについては、薬剤散布を出来るだけ控え、人力による除去を進めているが、勢力が拡大していることから、駒ヶ谷地区の一区域について冬季に人力による殻の除去、5月に薬剤散布を行った。</p> <p>○駒ヶ谷地区の築山を中心とした区域の景観を向上するため、タニウツギ・ユキヤナギの樹木特性等を活かした自然樹形重視の剪定を行った。</p> <p>○水利組合からの要望で、公園区域外であるが、あすか野草広場の水路際の実生木十数本を伐採した。</p> <p>■ 花壇管理</p> <p>○一年草花壇は、3回の植替えを実施(うち1回は12月予定)し、灌水など適正に管理を行った。</p> <p>○主要植物であるあすか花回廊の播種花壇は、3回播種のほか、灌水など適正に管理を行った。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>○台風の被害により、除草作業の前にガレキ撤去が必要になるなど支障が生じたが、回数や工程を見直すことで速やかに対応し、利用者に気持ち良く公園を利用してもらうことができた。</p> <p>○礫や泥が堆積して除草できない箇所については、面積を計測し、引き続き土木事務所と協議をしていく。</p> <p>○あすか花回廊をはじめとした園内の花壇については利用者に好評であったが、花苗の盗難も発生したため、マナーの向上を呼び掛けていく必要がある。</p> <p>○カイガラムシ防除は、今後とも計画的に進めていきたい。</p> <p>○当初計画以上の回数やエリアを除草することで、河川と一体的な良好な景観づくりが創出できた。</p>	A	<p>実地計画書・公園管理要領等に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○除草・樹木管理については、公園区域外の見通しの悪い場所も作業を行い、公園利用者の安全性に配慮した管理を行った。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。</p> <p>除草業務をはじめ、利用者の安全性を優先した柔軟な対応を行ったことが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p><b>【実績】</b>            実施計画に基づき、昨年度から以下の園内清掃を継続して実施した。            ○駒ヶ谷地区は毎日の清掃            (土・日・月は3班、月～金は巡視作業後)            ○河川敷内は週2回の清掃            (月はエルチャレンジ、水は富田林シルバー)            ○自然ゾーン内園路は隔週1回の清掃            (隔週月曜日にエルチャレンジ)            ○河川敷内の仮設トイレは週2回の清掃            (月・火、木・金に富田林シルバー)            ○駒ヶ谷地区のトイレは毎日清掃            (月～金は施設清掃員、土日は羽曳野市シルバー)            ○日常巡視において、駒ヶ谷地区中央トイレの壁面タイルの剥離が広範囲に広がってきていることが報告されたことから、専門業者による確認を行うとともに危険な部分の撤去作業を実施した。            ○法面などの公園管理区域外であっても、ゴミの回収に努めた。            ○休日明けの河川敷エリアでは、バーベキューゴミの投棄が多いため、BBQ利用者にはゴミ持ち帰りを呼びかけ、翌朝には利用のあったエリアを重点に巡回し清掃にあたった。            ○落ち葉やゴミの詰まりは、隣接する農業水路に影響が出るため、詰まる前に公園周辺の側溝などを清掃した。            ○慣習や文化の異なる外国人へ、ゴミの持ち帰りを指導した。            ○公園区域外であっても、ゴミや不法投棄があった場合には、無線連絡等により事務所へ報告し、事務所から関係機関への連絡を行った。            ○サイクル橋については、公園区域外ではあるが人糞が頻繁に残されていたため、定期的に巡回し、発見次第除去した。            ○台風21号接近時の冠水によりもたらされたゴミについて、トタン板等危険性のあるものはすぐに回収し、それ以外のゴミも園路復旧の後、清掃を行った。</p> <p><b>【自己評価】</b>            ○パトロールの強化や、ゴミの持ち帰りを呼びかけたことで、公園の美観を保ち、いたずらや苦情を減少させることができた。            ○公園区域外であっても、河川や周辺施設と一体的な景観づくりに努めた。            ○台風21号により多くのゴミが園内にもたらされたが、利用頻度の多いところから清掃を行い、苦情や事故の防止につながった。</p>	A	事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。  ○台風21号による漂着ゴミの撤去等、迅速に対応したことは高く評価できる。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 台風21号による漂着ゴミの撤去等、迅速に対応したことなどが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な芝生を維持するため、グリーン22回・フェアウェイ23回・ラフ9回の芝刈、営業日のほぼ全日に人力手抜き除草を実施した。</li> <li>○ただし現在は、台風21号により場内に泥が堆積し甚大な被害が発生したが、泥の撤去や砂の充当によりBコースのみ利用再開を行っている。Aコースについては鋭意復旧作業をおこなっているところ。</li> <li>○芝生土壌の通気性・排水性の向上及び発根促進のために3月にエアレーションを行う予定。</li> <li>○粒状肥料ではグリーン上に翌日以降も粒が残ってしまい、利用者のプレー時に支障をきたすため、グリーン芝のさらなる品質向上に向けて、ゴルフ場専用液肥(18-6-10-4)に変更した。</li> <li>○パークゴルフ場内にある低木は、花芽分化時期などを念頭にプレーの阻害とならないように適宜剪定した。また、コース間の見通しも勘案し原則として高さ1.0m以下とし、プレーヤー同士のトラブル回避に努めた。</li> <li>○休憩所の屋根並びに周囲に、ヨシズ並びに緑のカーテンになるようゴーヤ・チョウセンアサガオを設置し、涼の感じられる工夫を行った。</li> <li>○パークゴルフ場のバンカーのうち、雑草の侵入や排水不良の生じている場所について、除草や砂の補充を行った。</li> <li>○</li> </ul> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フェアウェイ幅の変更に応じるなど、利用者要望に対応することで、大変喜ばれた。</li> <li>○Bコースの早期再開についても、利用者に喜ばれている。またAコース再開についても鋭意努力している。</li> <li>○雑草混入については人力手抜き除草では限界があることから、さらなる効率的で効果的な維持管理の手法を検討していきたい。</li> </ul>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パークゴルフ場の芝生の管理を標準回数以上実施し、利用者の要望に沿ったレベルの高い芝生管理を行った。</li> <li>○台風21号により被災したが、早期復旧に努め、半分を暫定供用し、年明けには全面利用再開にこぎつけるなど、柔軟な対応を行ったことは高く評価できる。</li> </ul>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。パークゴルフ場の芝生管理を適正に行うとともに、台風21号による被害に対する柔軟な対応などは評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	<p>自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。</p>	<p><b>【実績】</b>  ○ボランティア団体「南河内ほわ〜と流域ネットワーク」が行っている「まめパト隊」(子どもたちに南河内の自然を知ってもらう取り組み)のメインの活動場所となる公園として、広報をはじめ、申し込み・問い合わせなどを含め全面的に協力した。  ○「南河内ほわ〜と流域ネットワーク」の協力を得て、「子どもの手作り水族館」を開催し、子どもが主体となって水槽をデザインし工夫。内容の充実を図った生き物の展示をした。またドングリの芽吹きや種類展示などを行い、季節毎の自然の営みを感じていただいた。  ○石川の自然環境を活用し、魚や昆虫、野鳥などをテーマとした「自然観察&amp;講習会」を実施した。  ○カヤネズミの営巣が多い、自然ゾーンAエリアのオギ移植区域では、クズの侵入を防ぐため、巡視による踏圧防除を実施した。  ○大阪産業大学と共催で、学生や地域の子もたちと石川の自然を活用した環境学習(TOMOIKIプロジェクト)を企画した。その後、ゼミの体験学習の一環として、学生にカヤネズミの保護活動にも参加していただくなど、継続的な協力体制を整えた。  ○自然ゾーン計画・運営協議会へ全面的に協力するとともに、今後の保全に対する管理手法が引き継がれるよう、希少種の保護マニュアルを検討中で、3月に完成予定。  ○12月に恒例のイベント「クリスマスリースづくり」を行い、園内に生育する身近な自然素材の魅力を伝える予定。</p> <p><b>【自己評価】</b>  ○河川敷や河川内を活用し、さまざまな活動やイベントを行い、自然環境学習の場を提供できた。  ○自然ゾーンAに移植したオギも定着しており、カヤネズミの巣も多数発見できた。このことにより、府民ボランティアとの保護活動の成果が出てきていると評価している。  ○ボランティア団体や大阪産業大学の学生など、当公園の活動に協力してくれる団体を開拓することができ、今後の環境学習の取組の発展につなげることができた。  ○希少種等の保全に対する考え方と管理手法が継続されるよう、下地づくりができた。</p>	S	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施できている。かつ応募時の提案以上に実施。</p> <p>○ボランティアのすそ野を広げるため、大学と連携してイベントなどを開催、啓もう活動、維持管理活動と一体となった維持管理活動などが評価できる。</p> <p>○これまでボランティアと共に絶滅危惧種の保全のため、自然ゾーンの管理について試行錯誤を行ってきた結果をもとに、マニュアルとして取りまとめ、管理者が変わっても、希少生物の管理手法を継続的に行える土台を作ったことは、非常に高く評価できる。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。  大学やボランティア団体と連携した自然環境を活用した環境学習・保全の取組み結果を、マニュアルとしてまとめた点が高く評価できる。  引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)		評価 (S~C)		
	<p>利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)</p>	<p><b>【実績】</b>  <b>■巡視</b>  ○午前・午後の2回の巡視は、同じ場所を違うスタッフが巡視するようコースを設定した。  ○月一回の照明灯点検をはじめ、浄化槽点検、非常用発電設備点検など諸定期点検を実施した。  ○巡視の際に発見した不具合は、その危険性・緊急性を判断し、適正に処置を実施した。  ○サイクルロードについては日頃より利用が多いことから、台風21号によるヘドロ堆積時には富田林土木事務所の所管ではあるが、転倒等による二次災害防止のため一部分の撤去作業を行った。  ○玉手橋の老朽化した橋脚からコンクリート片が落下したため、早急に立入禁止措置を行い、所管機関へ連絡した。  ○管理事務所前のインターロッキングにガタつきが生じていたため、修繕を行った。  <b>■遊具点検</b>  ○遊具は、日々の巡視による点検のほか、月一回の職員による定期点検、資格者による年一回の専門点検を実施した。  ○老朽化した遊具としてネットトランポリンのザイル全面張り替えや、回転式遊具の取外しを行った。  ○修繕の際には、人工木材などの腐食しにくいものや、厚みのある金具を使うなど、長寿命化を見据えた具材を使用した。  <b>■衛生管理</b>  ○手洗い消毒液の補充を徹底したほか、駒ヶ谷地区の2か所のトイレ及び移動式トイレ14か所にて手洗い励行のポスターを掲示し意識啓発を行った。  ○夏期(7月~9月)のトイレ清掃時は、規定回数の消毒を実施した。  ○駒ヶ谷地区のバーベキューゴミに関しては、夕方と早朝に回収処理し、衛生的な環境管理に努めた。  ○デング熱やジカ熱の防止のため、中央トイレ及び事務所周辺の排水溝において殺虫・消毒を実施した。  <b>■危険動物対応</b>  ○スズメバチの巣を発見した際は、バリケードで付近の立ち入りを禁止するとともに、専門業者に依頼し撤去を行った。  ○セアカゴケグモ、チャドクガなどは発生時期に集中的に巡視を行い、発見したものは直ちに処分するとともに、周辺の巡視強化を図った。  ○ヒアリについても注意喚起のポスターを掲示し、注意を呼び掛けた。</p> <p><b>【自己評価】</b>  ○巡視時にこまめな注意と、関連機関への連絡を徹底したことにより、事件や事故の未然防止につながり利用者の安全を確保することができた。  ○不具合の早期発見・早期対応により、瑕疵による事故や危険動物による利用者への被害はなかった。  ○公園区域内外に関わらず事故防止と安全確保に努めることができた。</p>			<p>実地計画書・公園管理要領等に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p> <p>○台風21号による土砂の堆積について、公園利用者の利便性・安全確保のために管理区域外のサイクルロード部分も含め、土砂の撤去を行うなど適切に対応したことは高く評価できる。</p>		<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。  管理区域内外にわたる危険防止の対応など、利用者の安全確保に向けた個別事案に対する適切な対応が評価できる。  引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○移動式トイレについては、気象予報や雨雲レーダー、水位等の情報収集に努め、早めの汲み取り対応を実施し、気象警報が発表される前から、早めの対策と体制を整えた。</li> <li>○短時間増水による流失の危険性を軽減するため、28年度末に移設した9番及び8番トイレの水防体制を本格実施。</li> <li>○計7回(6月21日、7月9日、8月7日、9月12日、18日、10月22日、29日)警報発令に伴う非常時体制配備を行い、入園禁止措置やパトロール、安全措置等を実施。</li> <li>○台風接近や梅雨時期に伴って、事前に汲み取りを行い、トイレを避難移動させた(計5回、10基)。</li> <li>○台風21号接近により、大黒橋より下流部が濁流に飲まれ、園内各所において土砂、瓦礫が堆積。また、河川護岸やフェンス、遊戯場などが損壊のため、バリケードによる安全対策措置や関係機関への連絡など、初期対応を適切に実施した。</li> <li>○サイクルロードや園路等、通行に支障があり、転倒の危険がある場所については、早急に土砂・汚泥撤去を行った。</li> <li>○大阪府が実施した防災訓練において、非常用器材の使用法説明等を行った。</li> <li>○漂着した瓦礫や汚泥は迅速に処理し、公園利用者の安全確保や快適利用に努めている。</li> <li>○12月11日には、巡視、水防従事者に対する防災に関するスキルアップを目的とした研修を行う予定。</li> </ul> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急度の高い最下流の移動式トイレを少し高い上流部へ移設させたことで、冠水のリスクを軽減でき、機動力が上がった。</li> <li>○日頃からの装備のメンテナンスとこれまでのノウハウにより、大型台風接近時には、スムーズな対応ができた。</li> <li>○昨年度までの経験を生かし、水防対応がよりスムーズにできるようになった。</li> </ul>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。かつ応募時の提案以上に実施。</p> <p>○台風21号による被害は想定を超えたものであったが、漂着した基大ながれきや汚泥は迅速に処理し、公園利用者の安全確保や利用再開に努めたことは非常に高く評価できる。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>台風21号による被害対応を的確に行い、公園利用者の安全確保や利用再開に努めたことが高く評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴミの持ち帰り運動を推進するため、土日祝日には園内放送を使ったアナウンスを行うほか、全ての移動式トイレ並びに園内掲示板、看板へのポスター掲示を行った。</li> <li>○防災意識の啓発として、増水時の注意事項を記載したチラシを配布するとともに、管理事務所ロビーにおいても同様のパネルを掲示した。</li> <li>○「心の再生」府民運動のオフィシャルサポーターとして登録、HPでの紹介やポスター掲示に協力するほか、親子で参加できるイベントの開催を行った。</li> <li>○知的障がい者1名を引き続き雇用した。</li> <li>○園内の清掃において、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合と契約を締結し障がい者の雇用促進事業に寄与した。</li> <li>○HPにおいて府営公園19公園の紹介を実施するほか、季節に応じた桜情報や紅葉情報などの季節のページも運営した。</li> <li>○「男女いきいき・元気宣言」の申請を行い、登録事業者となった。</li> <li>○「大阪府障がい者サポートカンパニー」の申請を行い、優良企業として登録された。</li> </ul> <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○応募時の提案を着実に実施している。</li> </ul>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領に定めた内容に沿って適切に実施できている。</p>	A	<p>府の施策に協力し、提案通りの取組みを着実に実施するなど、適切な管理運営を行ったことは評価できる。</p> <p>引き続き、より良好な管理運営に努められたい。</p>
II さらなるサービスの向上に関する事項						

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
(1)利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どの ように取り組むか。	<p><b>【実績】</b> 計165部回収済み。全般的な満足度は、満足50%、やや満足45%であった。 満足度が低かった項目は以下の通り。 ＜サービス施設(売店)＞ ”やや満足”29% ”やや不満”25% ”不満” 15% ＜イベントの充実＞ ”やや満足”26% ”やや不満”19% ”不満” 3%</p> <p><b>【自己評価】</b> ・本公園には売店がないため、不便を感じている方が多いと思われるため、引き続き、 売店機能の確保手段について、土木事務所と協議していく。なお、あったらよいイベ ントとして、フリーマーケット・ガレージセールとの回答が48%であった。 ・河川敷でのイベントが少ないと感じている方が多いと思われるため、より広いジャン ルで公園を使いこなす取組み「水辺の教室」を開催したり、ニーズの高い魚取りイベ ントの回数を増やすとともに、長期間に渡って受け付けを行う。今後、駒ヶ谷地区以外で の、河川敷をメイン会場としたイベントを企画検討する必要がある。</p>	A	○公園の全般的な満足度 は、1.1という評価であった。 満足50%、やや満足45%で、 多くの来園者が日常の維持 管理に満足していることが伺 える。イベントについても、一 定ジャンルに偏らない豊富な 内容で、来園者の関心を得た ことを評価している。	A	総合的な満足度は良好であ り、適切な管理運営に努め ている。 引き続き、良好な維持管理・ 運営管理に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p><b>【実績】</b></p> <p>○アンケート結果から、親子連れで遊具を中心に楽しめる方が多いことが読み取れる、親子向けのサービスを充実させたい。</p> <p>○(Ⅰ)のうち、草刈の問いに対し、不満のある方が18%となっており他項目に比べ高かった。駒ヶ谷地区の除草頻度やタイミングについてより効果的な方法を検討し実現していきたい。</p> <p>○(Ⅱ)のうち、四季折々の花が楽しめるかどうかの問いに対し、約9%の方は何らかの不満を感じていた。</p> <p>○(Ⅲ)(Ⅳ)において、施設の設備面や安全面に関する満足度が、他項目に比べて高かった。公園に求められる当然の条件として今後も高めていきたい。</p> <p>○(Ⅳ)のうち、売店などサービス施設の問いに対し、当施設及びその周辺に売店がないことから、不満を感じている方の割合が約26%であった。</p> <p>○(Ⅴ)(Ⅵ)において、わからないと答えた方の割合が、イベントの充実については約40%、ホームページの見やすさについては約50%であった。</p> <p>○(Ⅶ)のうち、職員対応の問いに対し、91%の方に満足していただいていたが、不満を感じているという回答も6件あった。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>○公園利用者は、親子連れの方が約半数と多かったことから、親子連れの方を対象にしたチラシデザイン、イベント時に水遊びコーナー(幼児用プール3基、シャワー)を開設したところ、大変喜ばれ、夏の来園者増加に寄与できた。</p> <p>○イベントに関する満足度が低かったことから、魚取りイベントを14回程度の企画・開催するとともに、長期間に渡る受付体制を整えるなど、充実を図ることができた。</p> <p>○草花等の魅力アップについては、夏場のヒートアップ対策と花の鑑賞ができるマンデビラを導入したところである。今後、草花だけに頼らず鑑賞できる花木等ボリュームのある植物を導入も検討が必要と思われる。</p>	A		A	<p>前年度に低い評価を受けた事項に対して、より良い公園に向けての創意工夫に努めた点が評価できる。</p> <p>引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p><b>【実績】</b>  ○使用していない大会議室をキッズルームとして開放することで、遠足のグループや、家族連れでにぎわった。  ○周辺の太子町立中学校や富田林高校と協力し、大会議室やロビーを利用して小学生から大学生までを対象に、自由学習や近隣学校の教育の場として提供する「水辺の学校」を開催した。  ○台風接近により中止となったが、大阪府公園協会と大阪産業大学との共催による「TOMOIKIプロジェクト」に協力した。  ○ボランティアと協働して修景池の池干しイベントを実施し、親子で生き物観察を行った。その後もヒメガマやアシカキの刈り取りを行い、美観向上に努めた。  ○月に3日を標準とし、職員2名を施設補修の専従員として配置。細やかな点検、早期に手当をすることで景観の維持や施設の延命措置を図った。  ○ビジターセンター内展示の見直しを図り、明るい空間と利便性、安全性の向上をはかった。</p> <p><b>【自己評価】</b>  ○キッズルームの開設により、荒天時でも安心して遊べ、親子同士のつながりを育む場所が提供でき、リピーターの数が増えている。育児の孤立化という社会問題の解決にも貢献できている。  ○今回は台風の影響により「TOMOIKIプロジェクト」による魚とりは中止となったが、小学生から大学生までと、環境学習のフィールドとしての利活用が進んでいる。  ○「水辺の学校」では、近隣学校との協力により、これからの世代に公園を身近なものとして捉えていただき、新たな視点、様々なジャンルで、より使いこなしてもらおうしかけを作ることができた。また、地域に眠る人材と公園とのネットワークの創出に貢献できた。  ○駒ヶ谷地区の修景池周辺の美観及び水質が改良され、水生生物の保護活動に寄与できた。  ○補修専従員を配置することで、細部にまで目が行き届くことができ、また丁寧な修繕が行えた。  ○ロビーを明るく整理することで来館者の利便性が向上し、ゆっくりくつろげる空間が広がった。</p>	S	○会議室の空いている日にキッズルームとして開放し、荒天時の利用や親子の交流の場として活用を図るとともに、地元学校や大学・ボランティアと協力してイベントをおこなうことで公園の活性化や利用促進を行うなどの種々の取り組みは非常に高く評価できる。	S	会議室のキッズルーム開放や、地元学校や大学・ボランティアと協力したイベント実施により、公園の活性化や利用促進を行う、などの種々の取り組みは高く評価できる。 今後とも、積極的な取り組みを期待する。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【石川河川公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	
<b>Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目</b>						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<b>【実績】</b> ・概ね計画通り執行している。  <b>【自己評価】</b> ・修繕費等計画的に支出しており支出超過は生じていないが、台風21号被災復旧に伴い不足が生じることが確実なため、協会補正予算にて充当する考え。 ・パークゴルフは恒常的に利用者が減少しており、軽微ではあるが収入減となっている。夏場の早朝開園により改善をはかっており、夏季利用者は昨年度に比べて増加傾向にあったが、10月の週末に雨が多かったことや、台風21号の被災により、パークゴルフ場収入が見込めない状況。ただし、公園協会全体としては収入不足は生じていない。	A	○著しい収入過多や支出超過はなく予定どおりの収支となっている。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<b>【実績】</b> ○繁忙期と閑散期で人員配置を工夫するなど、円滑に管理体制を構築できた。 ○正規職員の副責任者を配置するなど、提案通りの人員配置を行った。 ○パークゴルフアドバイザー2名を配置した。 ○施設補修の充実・効率化を図るため、従業員2名を施設補修の専従員として配置した。 ○台風21号の被災に伴い、被災直後より巡視回数を1日1回とし、午後は復旧作業に充当した(土木事務所と協議済み)。  <b>【自己評価】</b> ○施設補修の専従員を配置したことで、早期に丁寧な補修を実施することができた。 ○土木事務所と積極的に調整を進め、公園機能復旧に努めた。	A	○適切に人員が配置されている。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<b>【実績】</b> ○一級造園施工管理技士2名、二級造園施工管理技士1名、危険物取扱者乙種4類2名、公園管理運営士2名、の資格保持者を配置した。 ○電気主任技術者については、(一財)関西電気保安協会に外注し、点検並びに維持を行った。	A	○適切に人員が配置されている。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	<b>【実績】</b> ・事事例について、朝礼等で周知するほか、毒毛虫などが例年発生する地点などは、立入時や巡視時に十分注意する。 事故未然防止のため、作業を行うスタッフに安全靴を支給した。 12月11日に巡視業務担当者に防災研修を予定。 また12月中に、全従業員対象に接遇研修を実施予定。  <b>【自己評価】</b> ・来園者への公衆災害はなく、良好に管理運営できた。	A	○適切に管理運営が行われている。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	<b>【実績】</b> ・提案のとおり  <b>【自己評価】</b> ○経営状況に大きな変化はなく問題はない。	A	○経営状況に問題はない。	A	構成団体の財政状態は良好である。